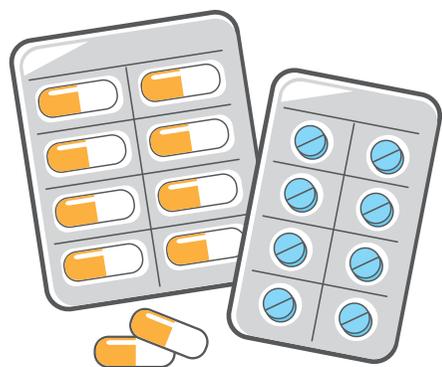


7 服薬



プラス 大事な視点

本人は服薬についてどう思っていますか？

薬のメリットや必要性が十分に伝わっていないと、服薬を続けることが難しくなることがあります。それらを理解することで、服薬の意識が高まり、生活の中で自然に取り入れやすくなります。

本人と工夫の方法を考えましょう

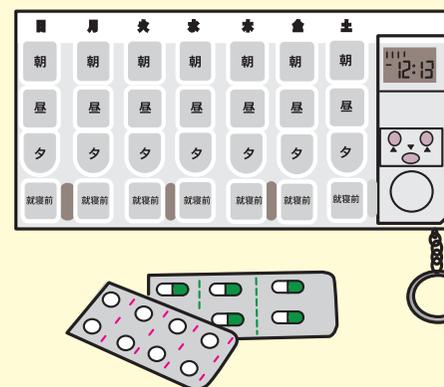
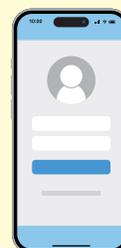
服薬のどの工程でつまづいているかをよく見て、本人と工夫の方法を考えてみましょう。やりやすい方法を自分で選んでやってみる、という過程も大切です。



困ること

うっかり飲み忘れる

● 記憶・注意



飲む時間を教えてくれる

- ・スマホのアラームや服薬管理アラームを使う
- ・アラーム音を家族など身近な人の音声にする
- ・と何のアラームが分かりやすい

用法・用量を間違えてしまう

朝昼晩をまとめて飲んでしまおう、一部の薬を飲み忘れる

● 注意



飲む量とタイミングを分かりやすくする

- ・お薬カレンダーやピルケースを使う
- ・曜日だけのもの、日付だけのものなど本人にとってちょうどいい情報量にする
- ・卓上時計の近くに設置する

お薬カレンダーが使いづらい・混乱する

● 段取り・見当識



薬を1つの袋にまとめる

- ・主治医や薬局に薬を1つの袋にまとめる(一包化)相談をする
- ・1日に飲む回数も1日1回にするなど調整できないか相談する
- ・セットや確認は家族や支援者をお願いしてもいいでしょう

● 関係する主な機能や要因